

第3回 大竹市まちづくり基本構想策定審議会 議事録

開催日時 令和3年1月15日(金) 18:30~20:00

開催場所 大竹市役所5階第1委員会室

出席委員 * 順不同・敬称略

金谷 信子	太田 悠一	梶山 恵	谷岡 茂
向井 敏亨	西尾 裕次	中村 照子	福田 佳江

※金谷委員についてはオンライン参加

欠席委員 * 順不同・敬称略

高橋 央史	松原 聡子		
-------	-------	--	--

大竹市まちづくり基本構想等策定本部

太田 勲男	小西 啓二	中村 一誠	三原 尚美
豊原 学	山本 茂広	古賀 正則	佐伯 和規

事務局 大竹市

三上 健	富田 亜紀子	武田 宜裕
------	--------	-------

次第

1. 開会(市長挨拶)
2. 議題
 - (1) 大竹市まちづくり基本構想について
 - (2) 答申について
 - (3) その他
3. 閉会(副市長挨拶)

資料

- ・第3回大竹市まちづくり基本構想策定審議会 次第
- ・大竹市まちづくり基本構想策定審議会・委員名簿 資料1
- ・大竹市まちづくり基本構想(素案) 資料2
- ・第2回大竹市まちづくり基本構想策定審議会(書面審議) 委員意見 資料3
- ・登場人物・ナビゲーターのセリフ修正案 資料4
- ・答申書(例) 資料5

1. 開会（市長挨拶）

市長	<p>皆様、こんばんは。</p> <p>お忙しいところ、またお疲れのところ、遅い時間からお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前回、第2回の審議会を书面審議とさせていただきました。現在、新型コロナウイルス感染症の拡大状況は、より一層厳しい状況となっており、委員の皆様におかれましても、不安の消えない日々を送られていることかとお察しします。そのような状況におきまして、この大竹市まちづくり基本構想策定審議会の会議にご出席いただいたことに、あらためまして感謝申し上げます。</p> <p>本日の会議ですが、前回の会議よりも密にならないよう、会場を変更し、また感染防止にもより細心の注意を払って開催させていただいております。金谷会長におかれましては広島市在住ということで、感染防止へのご配慮から、オンラインでのご参加をご提案くださいました。</p> <p>本日の審議でのご意見、そして最終的な答申を踏まえまして、大竹市まちづくり基本構想の完成に向けて、最終的な作業に入っております。どうか忌憚のないご意見を賜りますとともに、この厳しい状況が一日でも早く収束しますよう祈念して、私からの挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日もどうぞ、よろしく願いいたします。</p>
----	---

2. 議題

（1）大竹市まちづくり基本構想について

（事務局による議題の説明）

委員長	<p>それでは基本構想について、自由に発言をお願いします。</p> <p>前回のラフ画の段階よりも完成度がより高まった印象を強く受けました。初見した時に素晴らしい出来だと思いました。</p> <p>先ほど事務局から説明があった「よりよい未来のために今できることをやる」ということが、伝えたいメッセージだと解釈したのですが、伝わるような、伝わらないような、という気がします。小学校の教材にも使われるということでしたが、そうやって皆で考える機会のある方は良いのですが、そうではない大人の一般市民に伝わり切るのか、疑問を感じました。</p>
委員長	<p>私も同じようなことを感じました。小学校の教材で使われるということと併せて、何らかの形で、市民の皆様に向けて投げかける仕掛けがあってもよいと思いました。他にありませんでしょうか。</p>
委員長	<p>第1回目の会議のラフ画から色がついて当然良いものになっていて、わざわざラフ画を見せたことに意味があったのかと思っていました。最初からこのような形で見せてほしかったです。</p> <p>子どもの目線から見ると、色も使っていて見やすく、絵の雰囲気も教材としては良いのではないかと思います。大まかな感じの内容で書いてあるため、非常に意見も出やすいと思うので、子どもの教材という意味では十分かと思っています。</p>

会 委 員	長	その他、ご意見はありますか。
	員	ラフ画時に比べてすごく良くなっていると思います。第2回目の会議（書面審議）の各委員の意見も反映されていると思います。気になる点としては、1～2ページの未来の大竹のイラストが、全体をすっきりさせるために省かれたのだと思うのですが、ラフ画にあった亀居城、小瀬川、阿多田島の地名がなくなっているため、大竹の有名な場所として残してもらえればと思います。
会 委 員	長	重要な地名ということですね。まちのアイデンティティとも関わるところですので、検討してもらえればと思います。
	員	内容については特に問題ないと思います。すごく見やすいです。 「鯉」の表記がカタカナとひらがなになっているところがありますが、あえて違いを出しているのでしょうか。
事 務 局	局	「鯉」をひらがなにするのかカタカナにするのか、あるいは漢字にするのか、という点はこちらでも議論を重ねた結果、単体の「鯉」はカタカナで「コイ」、 「鯉のぼり」はひらがなで「こいのぼり」で統一しています。ただし「手描き鯉のぼり」は固有名詞ですので漢字を用いています。また、表紙の「コイ型ロボット」については、分かりやすさを重視してカタカナ表記としています。 なお、今回お配りした冊子の7～8ページの「コイのぼり」は「こいのぼり」の誤りですので、お詫びして訂正いたします。
会 委 員	長	今の事務局の説明で理解できましたでしょうか。あるいは、こうしたほうがよいといったご意見があればお願いします。
	員	大丈夫です。誤っている箇所は修正してもらえればと思います。
会 副 会 長	長	その他、ご意見はありますか。
	長	最初のラフ画を見て心配していましたが、かなりすっきりして見やすくなっていると思います。 小・中学生の教材としては色々と考えさせられる、分かりやすいものだと思いますが、果たして大人の方、あるいは高齢者の方に見ていただく際にこれで十分なのだろうか、という想いを持っています。
会 事 務 局	長	このことについて、事務局から何か、一般の方あるいは高齢の方にも十分活用していただけるような工夫やお考えがあれば説明をお願いします。
	局	この基本構想は、概ね30年先を見据えたまちの将来像などを示すもので、大竹の特色が出しにくく、様々なものを網羅した総花的な表現になっている点は否めませんが、行政の計画というものはなかなか手に取っていただきにくいので、冊子自体を見やすいものにして、これをきっかけに大竹市のことや、大竹市のまちづくりに興味を持っていただけるようにしたいと思っています。 その上で、この基本構想に基づいてどのような施策をするのか、その具体的な内容については、第1回目の会議で素案をお配りした基本計画で示していますので、大竹独自の特色が出るような取組をしっかりと盛り込んでいけるようにしていきたいと考えています。 また、高齢者や障がいのある方への配慮という点について、例えば視覚障がいのある方に対しては、音声読み上げソフトを使うなどでは、イラスト中心ということもあって伝わりづらいと思いますので、ストーリーの流れと共に基本構想の趣旨を説明するための仕掛けも考えていきたいと思っています。

会	長	<p>書面審議の時に、基本構想の目的や趣旨などを載せるべきではないかといった意見がありました。また、市民の皆様に対して、基本構想の目指す姿が、基本計画の様々な施策につながっているということをもう少し説明してもいいのではないかと思います。</p> <p>例えば、市のホームページに基本計画の情報を掲載すると思いますが、基本構想の最後のページに、具体的な施策については基本計画に書かれています、ということや、ホームページの URL ぐらいは掲載してはどうでしょうか。URL が毎回変わるなどでリンクが難しいなら、トップページに分かるように掲載しておいてもよいと思いますし、何かしら基本計画に関わるページにリンクさせておくことはできるのではないかと思います。</p>
委	員	<p>私も同じことを思いました。先ほど説明のあった高齢者の方などに向けて音声で伝えるという方法も、ダイバーシティの観点も含めてありだと思っておりますが、そこまでして中身を知ろうとするエネルギーを持ってくれるかというところには、正直疑問を感じる場所があります。でも、そうやって「どんなまちづくりの計画なのだろうか」と思った人が、どこに行けばそれが見られるのか、そのきっかけとなる情報がこの冊子にはないので、必要ではないかと思います。</p>
会	長	<p>その他、ご意見はありますか。</p>
委	員	<p>今回の基本構想のコンセプトなのですが、私の理解では、小・中学生の方にこれを見てもらって、教材にして、自由な夢を語ってもらい、それをたたき台にして実施計画を立てていく、といったようなイメージでした。</p> <p>また、全ての市民に見てもらおうものであって、そのために万人に分かるような内容にしていると理解していましたので、実際に行う取組など具体的なものを書く必要は全くないと感じていましたから、その辺りのコンセプトをはっきりさせておかないと、視点がぼやけてしまうというか、どこまでものを作ればよいのかが変わってきてしまうと思います。</p>
会	長	<p>今のご意見に対して、これまで何度か説明はあったと思うのですが、あらためていかがでしょうか。</p> <p>夢を語るというのも非常に大切なことではあると思うのですが、市の具体的な施策と連動しているというニュアンスが、思いは理解しましたが、文面からはまだ十分には伝わらない状態なのかと思います。</p> <p>確実なことが言えないという制約があることは理解していますが、基本計画をはじめ、市の施策に連動していますといった一文、あるいは情報の在りかを追加するという点について、事務局としてはどのような対応が考えられますか。</p>
事	務 局	<p>冊子全体の中に散りばめるというよりは、先ほどのご意見にもありましたが、裏表紙に、この基本構想に基づいて計画を作っていく、この基本構想が具体的な施策につながっていくということを示すことや、ホームページへ引き込めるようにすることなど、限られた紙面の中で、またデザインとのバランスもありますが、検討したいと思います。</p> <p>また、この冊子の中だけでなく、市民の皆様にも市の施策などを知っていただき、関心を持ってまちづくりに関わっていただけるようにするために、ホームページや SNS での発信や、基本構想のイラストを生かした動画を作成するなど、基本構想を活用して情報発信を工夫しながら行っていきたいと思います。基本構想を作りました、という発信だけではなく、基本構想とそれに基づく計画や施策が、何</p>

		を目的にするもので、どのように進めていくのか、それを通じてどんなまちにしていきたいのかということを中心に定期的に発信していき、関心のある方を増やしていくための取組を、中長期的な視野で行っていきたいと考えています。	
会	長	様々なご意見が出てきていますが、もう少し時間に余裕があります。最初申し上げたとおり、本日の会議が最終ですので、思い残すことがないように、是非忌憚のないご意見をよろしくお願いします。	
事	務	局	一点補足をさせてください。1～2 ページの未来の大竹のまちのイラストについて、ラフ画の段階で書かれていた地名を残してほしいというご意見をいただきましたが、地名を入れるかどうかはこれまでも検討してきました。大竹を象徴するものをいくつか入れてはいますが、あくまでイメージとしての未来のまちであること、行政計画であって観光パンフレットではないことから、あえて地名は入れない形にしています。また、一部の地名などを入れてしまうと、書かれていない地名などに対する意見が出てしまうことへの懸念もありましたので、最終的には、未来のまちのイメージを共有することを優先し、文字情報は省略することにしました。ただし、手すき和紙の里は、さすがに文字で示さないと分からないだろうということで入れています。 <p>なお、今回お配りした冊子は、まだ書き込みが完了していないところがあります。これからイラストを仕上げていく中で、大きすぎない修正やイラストの追加は可能ですので、必要なものがありましたら対応していきます。</p>
会	長	ありがとうございます。地域のシンボルとなる地名や施設などには、それぞれの思いがあると思います。事務局から説明があったように、調整に困るような議論になってはいけないという部分も確かにありますが、いかがでしょうか。亀居城や阿多田島などは載せる・載せないで争いになる可能性が低いとか、地名は絶対に載せるべきだといったようなご意見があれば、聞いておきたいと思います。	
委	員	事務局の思いはよく分かりました。個人的な意見としては、小学校高学年が見るのであれば、大竹に住んでいて、大竹の話をする時に、三倉岳は結構有名なので話に出てきますし、阿多田島もレモンハマチがありますので、そういうものはあってよいと思いますが、何を載せる・載せないというのは難しいところです。	
会	長	難しいですね。でも大竹市の個性という意味では確かに大切なポイントだと思えます。固有名詞がないほうが基本構想としてはふさわしいとか、地域に愛着をもってもらうという意味では少しは残した方がいいとか、両方の意見があるかと思いますが、ほかの皆様はいかがでしょう。	
委	員	三倉岳と阿多田島は自然の観光資源であり、大竹を象徴するものですから記すべきだと思いますが、市役所などの固有の施設は必要ないと思います。あと亀居城はあったほうがよいと思います。三倉岳、亀居城、阿多田島ぐらいは文字で示したほうがよいと思います。	
委	員	三倉岳や阿多田島などの自然は、これからもずっと存在するものですから、例えば、登場人物のおばあちゃんの「変わらない景色もあるよ」というセリフに対して、おじいちゃんが「あそこが三倉岳だね」とか、何か誘導するようなセリフとして追加できれば、未来のまちにも今と変わらないものがあると思えたり、またそういうものを探すきっかけになったりすると思います。この基本構想を読み込んでいくための足掛かりとなるよう、セリフに入れてみても面白いのではないかと思います。	

会 長	<p>私も、他の地域にはない大竹市の個性は、できるだけ入れることが大切だと思います。セリフの中に入れる、あるいはイラストレーターの知恵で違う入れ方などもあるかもしれません。また、これまでのご意見に出てきた地名については、掲載について大きな争いになる可能性は低いと思いますので、事務局で掲載方法を検討してもらえたらと思います。</p> <p>私からの他の意見として、7・8 ページの幸せづくりの未来宣言のところに「2020年の大竹市にやってきたよ」というセリフがありますが、この基本構想が公表されるのは2021年ですよね。つまり2020年というのが、公表時には1年前のことになってしまうのですが、大丈夫なのかと思いました。</p> <p>概ね30年後の未来の姿を描き、そこから現在に戻ってきて、今からできることを考えよう、というストーリーなので、ここは2020年でよいのでしょうか。年度という意味では2020年ですが、策定は令和3（2021）年3月ということになっていますので、こだわる理由や、あるいは2020年という部分に何かメッセージがあるのか教えてください。</p>
事 務 局	<p>終期を定めない計画ということで、当初は何年というのを明確にせずに、未来とだけ表記していましたが、時間軸があいまいだと流れが分かりづらいと考え、あえて年を入れることにしました。</p> <p>そもそもは、3～6 ページの8匹の幸せのコイたちを描いたページの右上に、「30年前にタイムスリップ」という登場人物のセリフがありますが、これは当初「タイムスリップ」だけでした。どの時間軸に移動したのかが分かりづらいということで、「概ね30年間」という基本構想のコンセプトから、「30年前」と入れることにしました。そうすると、未来を「2050年」、現在を「2020年」としたほうが、キリが良くて分かりやすいだろうということで2020年としたわけです。ただし、最後のページの呼びかけは、「今これを読んでいる市民の皆様」に対するものですので、策定時点の2021年としました。これによって2つの年が存在している状況になっています。2021年にタイムスリップという形にすれば、一応辻褄は合いますが、厳密には29年前となりますので、その辺りの時間軸の細かな整理をどのようにすべきか悩ましい部分ではあります。</p>
会 長	<p>その辺りは、他の行政文書のように厳密にする必要がないと思いますので、2020年から2050年というキリの良い数字で分かりやすくしておくほうがいいのか、策定時点に合わせて2021年としたほうが美しいのか、どちらが誤解を招かないかは感覚的な部分かと思います。何が何でも直さないといけないものではありませんし、このまま進めてもらってもよいと思います。</p> <p>他にご意見はありませんか。もう出尽くしたと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>では一旦、ご意見は出揃ったということで、このあたりで議論を閉じ、まとめたいと思いますが、もし抜けているところがあれば事務局で補ってもらえればと思います。</p> <p>まず、「この基本構想が、基本計画をはじめとする様々な施策に連動しているということ、そしてそれらの情報にリンクできるような情報を追加したほうがよい」という意見があったと思います。</p> <p>また、「市民の皆様にとって重要な地名は何らかの形で残す、セリフに入れるなどの工夫をすること」というご意見があったかと思います。</p> <p>そして、紙面の都合はあると思いますが、「一緒に行動しましょう」や「一緒に考えましょう」というような、この基本構想がまちづくりの議論の始まりとな</p>

るようなメッセージを最後のページで示す」ということ。登場人物のセリフは「僕もタネをまくぞ」で終わっていますが、できればそこにも少し工夫が欲しいです。例えば、「あなたはどのように関わりますか」とか、「これは皆さんの意見を聞いて作った計画です。それを実行する上であなたならどこから参加しますか」といったような、すぐには思いつきませんが、そういう呼びかけとなるような工夫を考えてもらえたらと思います。

以上が、大まかな意見のまとめですが、漏れているものや何か補足などがあれば、事務局、あるいは委員の皆様で再度確認していただきたいと思います。

事務局 今、会長がまとめていただいた内容で、事務局としては承知しました。ありがとうございます。

会長 それでは、今まとめた点を可能な限り修正し、基本構想に反映するよう、事務局においてはよろしくをお願いします。

それらの修正がなされることを前提として、「大竹市まちづくり基本構想（素案）」を、本会として承認したいと思います。賛成いただける方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

会長 賛成多数ということで、「大竹市まちづくり基本構想（素案）」を承認します。

(2) 答申について

(事務局による議題の説明)

会長 答申書(例)の1ページの「(1)大竹市まちづくり基本構想が示す未来のまちづくりの幸せの実現に向けて、幸せづくりの未来宣言に掲げる市民像を市民と行政が協働でできるように努めること」、「(2)基本構想に基づく、まちづくりの中期計画となる大竹市まちづくり基本計画を策定し、施策を実施するにあたっては、大竹市の強みや特徴を生かした大竹市ならではのまちづくりを市民との協働で進めること」という内容は、本日の修正意見と重なる部分だと思しますので、議論を先取りする形で書いていただけてよかったと思います。

(3)の「今後のまちづくりに対する意見」ですが、今から委員の皆様になんげつご発言いただきたいと思ひます。ただし、本日ここで話して終わりという方もいるでしょうが、もう少し考えてから意見を出したいという方がいましたら、本日の会議終了後事務局の方に提出していただけるようになっています。答申書に載せるならじっくり考えたい、という方もいらっしゃるかもしれませんが、それも受け入れる形で案をまとめていくようお願ひしたいと思ひます。

では、今後のまちづくりに対する意見ということで、お一人ずつ、忌憚のない発言をお願いします。

委員 意見というか希望ですが、大竹市の豊かな自然をぜひ今後も残してほしいと思ひます。

また、安全の観点から、夜歩いていて思っただけですが、まちなかの公園が暗いのが気になっていて、明るくなくてもよいのですが、人がいるのかいないかが分かる程度の明るさはあってもよいのではないかと思ひましたので、ぜひ改善して

	<p>もらいたいです。</p> <p>大竹市というまちは、JR 山陽本線沿い、国道 2 号沿いであって、インターチェンジも国道 2 号からそのまま入れて、港もある、田舎の割にはインフラがすごく整っているまちだと思いますが、それらが今はまだ十分生かされていないのではないかと思います。それらを活用できたらもっと魅力的な市になるのではないかといつも思っています。よろしくお願いします。</p>
委員	<p>生まれたときから大竹に住み続けて 45 年目になりますが、色々変わってきて、住みよいまちになってきていると思います。</p> <p>市民一人ひとりが満足できるというのは難しいことですが、一人でも多くの方に、住みよいまちになっていると感じてもらえれば、人口も増えてくるでしょうし、住みよさを様々な形で外に発信できれば、それらが大竹の特色になったりして、商工業など様々な産業の発展にもつながっていくと思います。</p> <p>この基本構想が、次の中長期の取組に反映され、大竹市の大きな形になってほしいと思います。</p>
委員	<p>基本構想にあるように、市民としてこの大竹に住んでいる方にとって、幸せあふれる、そして住みやすいまちづくりを考えるのは当然ですが、市民だけでなく、他所からも来たくなるよう、自然の観光資源を十分に生かせるように十分考えてもらって、他所から遊びに来た方が「住んでみよう」と思うようなまちづくりを進めてほしいと思います。</p>
副会長	<p>私は栗谷という市の北部にある中山間地域に住んでいますが、最近は高齢化で厳しい状況にあります。一次産業がしっかりしていないとまちも発展しないと市長もよく言われます。私自身もできる限り努力はしていきたいと思いますが、我々の努力だけでどうにもなるものでもないような気もしておりますので、そういう支援もしてもらいたいと思っています。</p> <p>大竹というまちは、日本の縮図みたいなところで、あらゆる要素を備えているまちではないかと思っていますので、そういう意味では住みよいまちにするには絶好の場所ではないかと思っています。少しでも役に立てればと思っていますので、一緒に努力していきましょう。</p>
委員	<p>子どもたちの安全・安心に取り組んでもらえたらと思います。先ほどの意見にもありましたが、「公園が暗い」といったようなことに対しては、やはり明るい公園が安全だと思いますし、今は先端技術が進んでいますので、例えば IOT などの新しい技術を取り入れて、子どもたちの安全・安心につなげてほしいと思います。</p>
委員	<p>医療費などが、全ての市民に平等に安くなったらいいなと思っています。子どもや高齢者の方などは控除がありますが、働く世代には色々と負担が大きいので、そういうところにも配慮してもらえると嬉しいと思います。</p> <p>また、より住みよいまちという点や、観光面で感じたことなのですが、晴海臨海公園やゆめタウンのあるエリアを、お店や公園などを車の交通などの妨げなく自由に行けるよう、例えば歩道橋などを設置するなどして、ストレスを感じる箇所を少しずつ解消していけたら、総合的に「本当に住みやすい」と皆が感じてもらえるようになるのではないかと思います。</p>
委員	<p>この会に参加させていただいて、皆様の素晴らしいご意見にただただ感銘を受けました。</p>

私は、委員になってから、中学生の子どもに「大竹ってどんな風になったらいいかな」と聞いたことがあります。その時に「晴海臨海公園に滑り台などはあるけど、中学生とかが遊ぶところが少ない」という意見をもらいました。そういった意見を受けて、このような基本構想を審議する中で、子どもたちの意見も少し取り入れてもらったら、また違う意見が出てくるのではないかと感じていました。

今から 30 年先を見据えた時に、今の子どもたちがちょうど働き盛りになる頃だと思しますので、その子たちが未来をどう思っているのかということも聞いてみたいという思いがありますので、今後こういう機会があれば、子どもたちの意見も取り入れてもらえればよいと思います。

会 長 ありがとうございます。皆様にご協力いただき、短い間に非常にたくさんのご意見を出していただきました。

全ては整理し切れていないのですが、「海も山も、農業も漁業もあり、社会インフラもある程度揃っており、総合的に住みやすく、地域に愛着を持っている方が非常に多い」といった大竹の潜在能力を十分生かしてほしい」というご意見や、「治安の面でもう少し努力してほしい」といったご意見もありました。

第 1 回目の会議でも意見があったと思いますが、30 年後のまちを語る上で、今回の基本構想のターゲットとして、今の若い人たちに対して訴えかけていく、彼らを巻き込んでいくことが非常に重要で、今後のまちづくりを考える上では未来の市民、未来の大人を十分に意識しなくてはいけない、という貴重なご意見も出たと思います。

以上のような内容を、市のほうで今後のまちづくりに生かしていただければと思います。

まだ言い足りてないということがあれば、事務局の方で今後も受け付けていただくように了解をいただいていますので、引き続きご意見があればお寄せいただきたいと思います。

(3) その他

(特になし)

会 長 それでは、本日の大竹市まちづくり基本構想策定審議会の審議は、この辺りで終了とさせていただきます。

一般的な総合計画とは異なる形の、新しいまちづくりの構想の策定ということで、どのようにアイデアを出せばいいのか、考えればいいのか、難しい面もあったかと思います。また、新型コロナウイルスの拡大が予想外の方向に進んでおり、審議の進捗にも不安がありました。皆様のご協力により審議を終結させることができました。心から感謝いたします。ご協力本当にありがとうございました。

3. 閉会（副市長挨拶）

副 市 長 本日は遅くから、またコロナ禍で大変な状況の中、お集まりいただき、熱心にご審議をいただきました。誠にありがとうございます。

幸せの形は、市民の皆様お一人お一人で異なり、同じ幸せが理想というもので

はございません。ですが、行政として、お一人お一人の声に耳を傾け、思いを汲み取りながら、一緒にまちを良くしていきたいと考えております。

皆様からいただいたご意見によって、基本構想も随分読みやすいものとなったと思っております。今後の大竹市のまちづくりの指針として、広めてまいります。また、本日たくさんのまちづくりに対するご意見や想いもいただきました。こちらにつきましては、基本計画の策定に生かしてまいります。来年度から、この基本構想に基づく新しいまちづくりがスタートします。現在、先行き不透明な状況を考えますと、思い通りに進まないこともあろうかと思いますが、これからも本市のまちづくりに関わっていただければ幸いです。

最後になりますが、皆様におかれましては、くれぐれもご自愛いただきますようお願い申し上げます。閉会の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

以上